



●学部・大学院生 15,000人 ●教職員 1,260人 ●留学生 1,200人

ホームページ <https://www.univ-smb.fr/en/>

交流協定締結年月日：2000年3月24日 主管学部：創造工学部



アヌシーキャンパス



アヌシー湖



アヌシー旧市街

## 国際交流の特色

サボア・モンブラン大学は、1979年近隣の各種学校を統合し創設された、学生数15,000人の中規模の国立大学である。8学部と19の研究所からなる総合大学で、法学、経済学、文学、社会学から、工学・科学までの幅広い領域をカバーしている。所在地は、フランスのローヌアルプ地方、隣接するシャンベリー市とアヌシー市に3つのキャンパスがあり、本部はシャンベリーキャンパスにある。2006年にサボア・モンブラン大学の2つの理工科学院が統合し、ポリテク・アヌシー・シャンベリーとなった。2000年4月に学術交流協定を締結以降、国際インターンシッププログラムによって継続的に学生の受入・派遣を行っており、相互に活発な交流が続いている。2008年には、工学部の第1回協定校訪問により、学生17名・教職員5名を派遣して交流を行っている。

## 交流実績（令和4年度～令和6年度）

年度	R4	R5	R6
受入・派遣			
学生の受入	3	4	5
学生の派遣	0	0	1
研究者・職員の受入	0	4	0
研究者・職員の派遣	3	2	1
オンライン交流参加者（本学）	0	0	0
オンライン交流参加者（相手機関）	0	0	0



国際インターンシップの様子

## 学生からの声

私は2024年8月から約6か月間、サボア・モンブラン大学にて、Moodleのような学習管理システムのログデータや科目に設定されている到達目標の繋がりを可視化する研究を行いました。留学中に研究成果を出すことや英語力向上を目的としており、どちらも達成することができました。私は英語が苦手なので、研究室の先生や学生との研究会議が不安でした。研究を始めた当初はなかなか思うように成果が出せませんでしたが、成果物に加えて設計図や英語の質問リストを事前に準備して会議に参加するようになったところ、議論したいことが伝わり、研究が進み始めるようになりました。熱心に研究を見ていただいたので、留学の成果をまとめることができ、その成果物を国際学会で発表していただき、共著として携わることができました。

今後国際インターンシップに参加したい皆さんも、英語で研究することに不安を感じるとは思いますが、とても熱心に研究指導していただけるのでぜひサボア・モンブラン大学で留学に挑戦してみたいです。

## 教員からの声

サボア・モンブラン大学との研究交流は工学部の発足時より続いており、毎年数名の学生の受入と派遣が行われています。さらに、創造工学部だけでなく他学部にも広がっており、教職員の交流にも力を入れています。

近年、国際化が益々進んでおり、国際インターンシップによる留学経験は大変貴重なものとなっています。企業でも、国際的な経験を有する人材は大変重要とされています。そうした中、長年交流のあるサボア・モンブラン大学は、留学先として最適ではないでしょうか。また、留学に際して、言語や文化など不安なことがあるかもしれませんが、これまでに留学した先輩方から、様々な情報を得ることができますので、安心して挑戦できます。是非、留学体験を通して国際化に対応できる人材になりましょう。